

令和5年度 学校関係者評価

令和6年2月27日（火）

学校評議委員 3名

指導・助言等

- ・SSH課題研究発表会と公開授業に参加した。SSH課題研究発表会については、自分の課題から研究をスタートさせた班、地域課題に取り組んだ班、市の職員など外部からの指導を積極的に受けた班など、生徒の真剣な取組に感銘を受けた。これからの社会で役立つ力である。探究で培った力を授業や自身の学習にどうつなげていくか、が今後の課題であろう。公開授業では授業における生徒のさまざまな姿を見ることができた。取り組み方はそれぞれだが、すべての生徒が活躍できる場を提供してほしい。
 - ・観音寺一高に進学する生徒は、能力やリーダー性が優れた者が多い。埋もれぬよう、チャンスを与え、いっそう生徒の力を伸ばしてほしい。
 - ・三豊市は防災アドバイザーがいる。意見を聞いたりしながら、地震等災害に対する危機管理体制を充実させてほしい。
 - ・生徒へのアンケートで「授業内容」には満足しているものの、「生徒による授業評価」に関する項目では評価が低く、生徒は教員の授業改善を実感していないようである。
-
- ・観音寺の広報で「島比呂志氏」特集を読んだ。観一生の探究活動が紹介されていて、すばらしいと思った。SSHに力を入れて取り組んでいる様子がうかがえた。中学生にも探究活動の成果を紹介できる機会を是非作ってほしい。
 - ・学校評価の結果から、現職教育の取組各教科の取組から、真剣に指導に取り組んでいる姿が見える。一方で、生徒指導に関する評価が低いことから、マナーやエチケットなど社会性を養成する工夫も必要であると感じた。
-
- ・観一祭に参加した。自分も子どもも観一の出身であるが、デカンショや民謡踊りといった伝統行事が引き継がれているのがうれしい。自分たちの時代の教育はみんな同じであることを求められた。これからは個に応じた、さまざまな学びが求められている。観一の探究活動は、能動的な学びを実践している。自分の価値を見つけながら生き方を学ぶことができている。
 - ・職員に対して19時30分に放送を通じて退勤を促していた。働き方改革にも取り組んでいる姿をかいま見ることができた。
 - ・教員の自己評価で、教育相談係の評価が「C」であった。課題を検討してほしい。